



## 平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 ゼリア新薬工業株式会社

コード番号 4559 URL <http://www.zeria.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長兼COO (氏名) 伊部 充弘

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役広報部長 (氏名) 森山 茂

TEL 03-3661-1039

四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日 配当支払開始予定日 平成26年12月2日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家・報道機関向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	30,136	0.1	2,279	△43.9	2,240	△46.9	2,115	△36.6
26年3月期第2四半期	30,109	16.1	4,060	110.4	4,223	109.0	3,336	50.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 1,295百万円 (△72.9%) 26年3月期第2四半期 4,781百万円 (299.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	39.83	—
26年3月期第2四半期	73.37	—

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。そのため、1株当たり四半期純利益につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	96,258	59,993	62.3	1,129.48
26年3月期	99,493	58,734	59.0	1,105.78

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 59,993百万円 26年3月期 58,734百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	14.00	—	15.00	—
27年3月期	—	15.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。なお、平成26年3月期第2四半期末の配当金につきましては、当該株式分割前の実際の金額を記載しております。

### 3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	64,000	3.2	5,000	△26.4	5,000	△26.5	4,300	△18.5	80.95

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(2)「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P.4「2.サマリー情報(注記事項)」に関する事項(3)「会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	53,119,190 株	26年3月期	53,119,190 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	3,031 株	26年3月期	2,796 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	53,116,317 株	26年3月期2Q	45,471,758 株

(注) 当社は、平成25年10月1日を効力発生日として普通株式1株につき1.1株の割合で株式分割を実施しております。そのため、上記の株式数につきましては、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等 .....	4
4. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	11
5. 補足情報 .....	12
(1) 販売実績 .....	12
(2) 主要製商品売上高 .....	13
(3) 新薬パイプラインの状況 .....	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動とともに、夏場の天候不順、円安基調を背景とした輸入物価の上昇等の影響による消費者マインドの低迷もあり、先行き不透明な環境下で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療用医薬品は、本年4月に薬価改定が行われるとともに、後発医薬品の使用促進などの医療費抑制策が強力に推進されており、またOTC医薬品市場におきましても、依然として国内需要の前年割れの状況が続いており、ともに厳しい環境下で推移いたしました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は、301億36百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。一方、利益につきましては、ライセンス及びロイヤリティ収入の減少や、研究開発費や広告宣伝費などの経費が大きく増加したことなどから、営業利益22億79百万円（前年同四半期比43.9%減）、経常利益22億40百万円（前年同四半期比46.9%減）、四半期純利益21億15百万円（前年同四半期比36.6%減）となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の海外売上高比率は、16.2%（前連結会計年度13.4%）となっております。セグメント別の業績は、次のとおりであります。

## ① 医療用医薬品事業

主力製品である潰瘍性大腸炎治療剤「アサコール<sup>®</sup>」は、海外におきましてはTillotts Pharma AGの自販体制の強化を通じ、引き続き売上を拡大いたしました。一方、国内におきましては、消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動から、増収は確保したものの売上の伸びが鈍化したいたしました。また、H<sub>2</sub>受容体拮抗剤「アシノン<sup>®</sup>」亜鉛含有胃潰瘍治療剤「プロマック<sup>®</sup>」などの製品は、本年4月の薬価改定や後発医薬品の使用促進の影響を受けて苦戦いたしました。昨年6月発売の機能性ディスペプシア治療剤「アコファイド<sup>®</sup>錠 100mg」につきましては、早期の市場構築に努めておりますが、その進捗は計画対比では遅れる状況となっております。

これらの結果、当事業の売上高は、169億12百万円（前年同四半期比9.1%減）となりました。

## ② コンシューマーヘルスケア事業

主力製品群である「ヘパリーゼ<sup>®</sup>群」につきましては、テレビCMをはじめ多様なメディアを活用した広告宣伝活動を積極的に展開した結果、製品認知度がさらに向上し、売上を拡大いたしました。なかでもコンビニエンスストア向けの「ヘパリーゼ<sup>®</sup>W群」は、夏場の天候不順の影響により計画は下回ったものの、前年度に引き続き売上を大きく拡大しております。「コンドロイチン群」につきましては、医薬品としての有効性、安全性、高品質を訴求し、健康食品との違いを明確にした販売活動を行った結果、順調に売上を拡大いたしました。また、日本で初めて月経前症候群の効能を取得した西洋ハーブ・ダイレクトOTC医薬品「プレフェミン<sup>®</sup>」（要指導医薬品）を平成26年9月に発売いたしました。

これらの結果、当事業の売上高は、131億44百万円（前年同四半期比15.2%増）となりました。

## ③ その他

保険代理業・不動産賃貸収入などにより、当事業の売上高は79百万円（前年同四半期比17.6%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は962億58百万円となり、前連結会計年度末対比32億35百万円の減少となりました。その内訳は流動資産が501億33百万円で、前連結会計年度末対比2億31百万円の増加、固定資産が461億24百万円で、前連結会計年度末対比34億66百万円の減少となっております。流動資産の増減の主なものは、現金及び預金の減少21億33百万円、受取手形及び売掛金の増加10億73百万円、商品及び製品等のたな卸資産の増加6億29百万円、前渡金の増加等流動資産のその他の増加6億63百万円であります。また、固定資産の増減の主なものは、投資その他の資産の減少25億98百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は362億64百万円となり、前連結会計年度末対比44億94百万円の減少となりました。その内訳は流動負債が231億2百万円で、前連結会計年度末対比28億50百万円の減少、固定負債が131億61百万円で、前連結会計年度末対比16億44百万円の減少となっております。流動負債の増減の主なものは、支払手形及び買掛金の減少10億95百万円、短期借入金の増加4億76百万円、未払法人税等の減少5億53百万円、賞与引当金の減少9億52百万円、未払金の減少等流動負債のその他の減少6億99百万円であります。また、固定負債の増減の主なものは、長期借入金の減少13億38百万円であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産は599億93百万円となり、前連結会計年度末対比12億58百万円の増加となりました。これは、四半期純利益の計上21億15百万円、前期末配当の実施7億96百万円、退職給付に関する会計基準等の適用による利益剰余金の増加4億80百万円、為替換算調整勘定の減少5億42百万円等によるものであります。

これらの結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は前連結会計年度末と比べ3.3%上昇し、62.3%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末の現金及び現金同等物（以下「資金」という）の残高は、期首残高対比21億41百万円減少し、199億28百万円となりました。これは、主に投資活動によるキャッシュ・フローが27億56百万円のプラスであったものの、営業活動によるキャッシュ・フローが33億72百万円、財務活動によるキャッシュ・フローが16億55百万円のマイナスであったためであります。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とその要因は、以下のとおりであります。

### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は33億72百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比53億61百万円減）。これは、税金等調整前四半期純利益の計上32億9百万円、減価償却費の計上9億76百万円、のれん償却額の計上3億74百万円、賞与引当金の減少9億45百万円、投資有価証券売却益の計上9億75百万円、売上債権の増加11億36百万円、たな卸資産の増加7億13百万円、仕入債務の減少9億36百万円、その他の流動資産の増加5億62百万円、その他の流動負債の減少8億82百万円、法人税等の支払17億24百万円等によるものであります。

### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は27億56百万円の資金の増加となりました（前年同四半期比36億34百万円増）。これは、有形固定資産の取得による支出6億2百万円、投資有価証券の売却及び償還による収入35億48百万円、長期前払費用に係る支出1億5百万円等によるものであります。

### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期連結累計期間は16億55百万円の資金の減少となりました（前年同四半期比6億37百万円増）。これは、短期借入金の増加4億81百万円、長期借入金の返済による支出13億43百万円、配当金の支払7億92百万円等によるものであります。

## （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績動向を踏まえ、平成26年5月13日発表の通期連結業績予想を修正しております。詳細は、平成26年10月31日発表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

### （1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第1四半期連結会計期間より、Tillotts Pharma AB、Tillotts Pharma Ltd、Tillotts Pharma UK Ltd、Tillotts Pharma Czech s.r.o.、Tillotts Pharma Spain S.L.U.、Tillotts Pharma GmbHは重要性が増加したため、連結の範囲に含めております。

### （2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

### （3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（退職給付に関する会計基準等の適用）

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数を反映した単一の割引率を使用する方法から退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が7億47百万円増加し、利益剰余金が4億80百万円増加しております。なお、この変更による当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

## 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,202,305	20,068,485
受取手形及び売掛金	15,484,792	16,558,120
商品及び製品	3,771,759	4,475,126
仕掛品	1,163,242	1,184,308
原材料及び貯蔵品	2,798,875	2,703,716
その他	4,491,672	5,155,031
貸倒引当金	△10,391	△11,280
流動資産合計	49,902,257	50,133,510
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	7,037,045	6,896,379
土地	11,578,907	11,576,698
その他（純額）	3,336,905	3,253,381
有形固定資産合計	21,952,858	21,726,458
無形固定資産		
のれん	12,240,878	11,687,500
その他	1,010,102	921,834
無形固定資産合計	13,250,980	12,609,335
投資その他の資産		
投資有価証券	10,544,540	7,380,966
退職給付に係る資産	2,023,268	2,887,338
その他	1,867,929	1,567,438
貸倒引当金	△47,969	△46,648
投資その他の資産合計	14,387,768	11,789,094
固定資産合計	49,591,607	46,124,887
資産合計	99,493,864	96,258,398
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,718,208	2,622,260
短期借入金	12,593,804	13,069,938
未払法人税等	1,899,452	1,345,513
賞与引当金	1,906,693	953,857
返品調整引当金	110,726	107,740
売上割戻引当金	188,133	167,242
その他	5,536,037	4,836,342
流動負債合計	25,953,055	23,102,894
固定負債		
長期借入金	13,867,486	12,528,700
退職給付に係る負債	154,140	160,904
資産除去債務	73,705	74,043
その他	710,679	398,170
固定負債合計	14,806,011	13,161,817
負債合計	40,759,066	36,264,712

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,593,398	6,593,398
資本剰余金	12,716,418	12,716,418
利益剰余金	34,717,906	36,746,864
自己株式	△2,679	△3,238
株主資本合計	54,025,044	56,053,442
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,307,527	1,023,184
繰延ヘッジ損益	—	547
為替換算調整勘定	3,533,211	2,990,351
退職給付に係る調整累計額	△130,984	△73,839
その他の包括利益累計額合計	4,709,754	3,940,243
純資産合計	58,734,798	59,993,685
負債純資産合計	99,493,864	96,258,398



（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

（四半期連結損益計算書）

（第2四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第2四半期連結累計期間 （自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）
売上高	30,109,245	30,136,789
売上原価	8,793,507	9,429,668
売上総利益	21,315,737	20,707,121
返品調整引当金戻入額	105,777	110,726
返品調整引当金繰入額	116,846	107,740
差引売上総利益	21,304,668	20,710,107
販売費及び一般管理費	17,243,780	18,430,817
営業利益	4,060,887	2,279,289
営業外収益		
受取利息	5,113	7,466
受取配当金	163,061	142,839
為替差益	78,307	—
その他	58,312	56,272
営業外収益合計	304,794	206,578
営業外費用		
支払利息	120,149	109,512
為替差損	—	117,278
その他	22,209	18,167
営業外費用合計	142,358	244,958
経常利益	4,223,323	2,240,909
特別利益		
固定資産売却益	84,794	—
投資有価証券売却益	523,286	975,216
特別利益合計	608,081	975,216
特別損失		
固定資産除却損	16	6,195
特別損失合計	16	6,195
税金等調整前四半期純利益	4,831,388	3,209,930
法人税等	1,497,568	1,094,235
少数株主損益調整前四半期純利益	3,333,819	2,115,694
少数株主損失（△）	△2,660	—
四半期純利益	3,336,480	2,115,694

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,333,819	2,115,694
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	329,149	△284,342
繰延ヘッジ損益	—	547
為替換算調整勘定	1,118,484	△593,655
退職給付に係る調整額	—	57,144
その他の包括利益合計	1,447,634	△820,305
四半期包括利益	4,781,453	1,295,389
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,757,826	1,295,389
少数株主に係る四半期包括利益	23,626	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,831,388	3,209,930
減価償却費	899,182	976,635
のれん償却額	346,045	374,095
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△122,474	△945,072
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	5,906	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	—	6,763
受取利息及び受取配当金	△168,174	△150,305
支払利息	120,149	109,512
投資有価証券売却損益 (△は益)	△523,286	△975,216
売上債権の増減額 (△は増加)	△241,642	△1,136,685
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△683,175	△713,734
仕入債務の増減額 (△は減少)	△580,867	△936,617
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△701,587	△562,713
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	471,569	△882,195
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△125,289	—
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	—	△58,688
その他	△205,436	△3,715
小計	3,322,306	△1,688,007
利息及び配当金の受取額	168,195	150,316
利息の支払額	△122,198	△110,588
法人税等の支払額	△1,380,022	△1,724,583
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,988,281	△3,372,863
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,250,526	△602,496
有形固定資産の売却による収入	1,148,585	—
無形固定資産の取得による支出	△152,336	△57,813
投資有価証券の取得による支出	△926,886	△10,993
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,650,951	3,548,808
子会社株式の追加取得による支出	△910,942	—
長期前払費用に係る支出	△500,000	△105,671
その他	63,412	△15,456
投資活動によるキャッシュ・フロー	△877,742	2,756,378
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,178,500	481,000
長期借入れによる収入	1,780,000	—
長期借入金の返済による支出	△2,309,964	△1,343,652
自己株式の取得による支出	△8,935	△563
配当金の支払額	△576,015	△792,531
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,293,414	△1,655,747
現金及び現金同等物に係る換算差額	520,412	△212,533
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△662,463	△2,484,766
現金及び現金同等物の期首残高	7,235,017	22,070,191
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	—	343,573
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,572,554	19,928,998

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日 至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	18,600,702	11,412,021	30,012,724	96,520	30,109,245	—	30,109,245
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	96	96	226,516	226,612	△226,612	—
計	18,600,702	11,412,117	30,012,820	323,036	30,335,857	△226,612	30,109,245
セグメント利益	4,474,702	2,123,696	6,598,398	75,842	6,674,241	△2,613,353	4,060,887

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,613,353千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自平成26年4月1日 至平成26年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	医療用 医薬品事業	コンシュー マーヘルス ケア事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,912,496	13,144,771	30,057,267	79,521	30,136,789	—	30,136,789
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	78	78	255,779	255,857	△255,857	—
計	16,912,496	13,144,849	30,057,346	335,301	30,392,647	△255,857	30,136,789
セグメント利益	2,014,172	2,638,125	4,652,298	122,857	4,775,155	△2,495,866	2,279,289

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、保険代理業及び不動産業等の事業を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△2,495,866千円は、主に報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## 5. 補足情報

## (1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：千円)

セグメントの名称	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	前年同四半期比 増減(△)率(%)
医療用医薬品事業	16,912,496	△9.1
コンシューマーヘルスケア事業	13,144,771	15.2
報告セグメント計	30,057,267	0.1
その他	79,521	△17.6
合 計	30,136,789	0.1

(注) 1.セグメント間の取引については、相殺消去しております。

2.金額は消費税等抜きで表示しております。

## (2) 主要製商品売上高 連結

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	増減(△)率(%)
1. 医療用医薬品事業	18,600,702	16,912,496	△9.1
アサコール®	7,901,698	9,037,565	14.4
プロマック®	2,528,206	2,043,773	△19.2
アシノン®	2,320,533	1,811,100	△22.0
その他	5,850,263	4,020,057	△31.3
2. コンシューマーヘルスケア事業	11,412,021	13,144,771	15.2
ヘパリーゼ®群	2,970,644	4,354,063	46.6
コンドロイチン群	3,104,351	3,463,480	11.6
ウィズワン®群	748,061	761,786	1.8
その他	4,588,963	4,565,441	△0.5
3. その他の事業	96,520	79,521	△17.6
合 計	30,109,245	30,136,789	0.1

(3) 新薬パイプラインの状況

I 国内開発状況

1) 消化器系分野

(平成26年11月10日現在)

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-103/ ポラプレジンク	自社	味覚障害 プロマック®効能追加	亜鉛補充	導入品
フェーズⅢ	Z-206/ メサラジン	共同開発 (協和発酵キリン)	潰瘍性大腸炎 アサコール®用法用量 追加	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅡ	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品 アジア共同治験
臨床準備中	Z-215	自社	酸分泌関連疾患	長時間作用型 プロトンポンプ阻害剤	導入品

2) その他の分野

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
フェーズⅢ	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品 アジア共同治験
フェーズⅠb	Z-213/ Ferric carboxymaltose	自社	鉄欠乏性貧血	静注鉄剤	導入品

II 海外開発状況

開発段階	開発番号/一般名	開発	適応症	作用機序及び特長	備考
承認申請中 (中国)	Z-206/ メサラジン	共同開発 (Tillotts Pharma AG)	潰瘍性大腸炎 アサコール®	pH依存型放出調整剤	自社(Gr)品
フェーズⅢ (欧州)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅢ (アジア)	Z-100	自社	子宮頸癌	免疫調節作用	自社品
フェーズⅡ終了 (北米)	Z-338/ アコチアミド	自社	機能的ディスペプシア	上部消化管運動改善作用	自社品
フェーズⅡ (アジア)	Z-360	自社	膵臓癌	ガストリンCCK <sub>2</sub> 受容体拮抗作用	自社品

自社(Gr)品：自社グループオリジナル品